

令和7年度 公開講座（短期課程）

コース No.	1 - 06		
コース名	人口が減少する変化・変動社会に向けた生産改善セミナー (5) 産業用ロボット・シミュレータの活用		
担当科名	機械システム系メカトロニクス科	講 師	山口俊憲 (産業用ロボット特別教育インストラクター)
実施日時	① 令和7年11月12日(水) 18:00～21:00		
	② 令和7年11月19日(水) 18:00～21:00		
	③ 令和7年11月26日(水) 18:00～21:00		
	④ 令和7年12月 3日(水) 18:00～21:00		
	⑤ 令和7年12月10日(水) 18:00～21:00		
	⑥ 令和7年12月17日(水) 18:00～21:00 (計18時間)		
募集定員	6人(最大10名程度)(最少実施人数2人)		
募集対象	対象職種：不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)		
	受講に必要なレベル：不問(受講生の状況・希望に応じて 基礎から実施)		
目標	生産現場での活用が期待される DX ツールの概略を知る。		
講座内容	人口減少する変化・変動社会では、今持つスキルとは異なるスキルを追加し続けることが求められています。また、 生産現場 では ICT(情報通信技術)・IoT などのデジタル化(DX: デジタルトランスフォーメーション)や ロボットの活用 が言われています。近年、これらを容易に導入できる機器が多数開発されており、新たな獲得するスキルの一つになりうると考えています。 本講座では、最近、 本校メカトロニクス科に導入された最新の簡単便利ツール である「からくり装置」、「 人協働ロボット 」、「 簡単制御機器 」、「 人間行動分析ツール 」などの使い方を学び、これらを現場でどのように活用するかについて検討します。		
他のコースとの関連性	この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「生産改善の DX」等に関する講義・実習の受講を一部免除する。		
履修項目	①ものづくり技術の変化 (1時間) ②からくり装置の活用(アルミ構造材) (2時間) ③デジタル技術を活用した人間行動の分析 (OTRS、AI 技術による姿勢推定、眼球運動解析装置) (2時間) ④簡単制御機器の活用(SiO など) (3時間) ⑤生産シミュレータの活用(Flex Sim) (2時間) ⑥協働ロボットの操作 (3時間) ⑦産業用ロボットの操作 (3時間) ⑧ロボットや自動機の活用 (2時間)		
使用装置ソフト・図書等	人協働ロボット(ファナック社製 CRX-10iA)、産業用ロボット(三菱電機社製ロボット搭載のバイナスの操作実習装置) 生産シミュレータ(Flex Sim)、動作分析ツール(OTRS)、PLC 代替簡単制御機器(SiO)、眼球運動解析装置、からくり装置、AI 技術を活用した姿勢推定など		
必要な持ち物	筆記用具		
受講費用	受講料：7,800円(18時間コース)		
	自己負担：なし		
留意事項等	6つの講座からなる「人口が減少する変化・変動社会に向けた生産改善セミナー」は地域企業を中心に現場改善に取り組む、また 産業用ロボット特別教育インストラクターの資格を持つ一人の教員 が全て担当しています。全て受講いただくと生産改善に必要な内容を網羅することができますが、それぞれ独立していますので 講座一つでも受講可能 です。一つだけ受講される方、複数講座を受講される方、様々いらっしゃいます。		